

学校評価アンケート集計 生徒

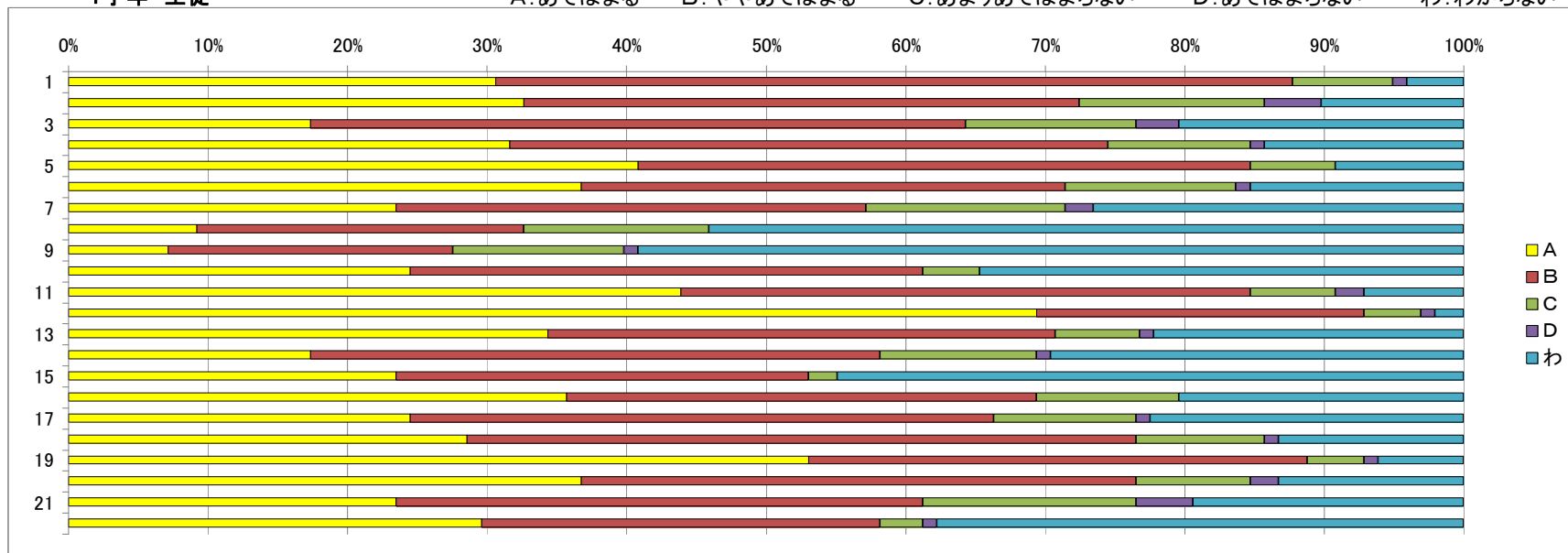
A:あてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない わ:わからない

観点	No	質問項目	1学年					2学年					3学年					全学年				
			A	B	C	D	わ	A	B	C	D	わ	A	B	C	D	わ	A	B	C	D	わ
1 学習指導	(1)	授業は、分かりやすく、基礎・基本が身に付いている。	31%	57%	7%	1%	4%	23%	59%	16%	0%	3%	29%	46%	11%	8%	6%	28%	54%	11%	3%	4%
	(2)	通知表の評価は、納得できるものとなっている。	33%	40%	13%	4%	10%	36%	54%	4%	1%	4%	13%	43%	20%	13%	10%	27%	45%	13%	7%	9%
	(3)	道徳の授業によって、道徳的な考え方や実践力が身に付いている。	17%	47%	12%	3%	20%	26%	44%	13%	4%	13%	21%	42%	17%	10%	10%	21%	44%	14%	6%	15%
	(4)	総合的な学習の時間によって、課題解決、情報活用、表現などの能力が身に付いている。	32%	43%	10%	1%	14%	40%	50%	6%	0%	4%	36%	37%	13%	9%	4%	35%	43%	10%	4%	8%
2 生活指導	(5)	一中は、あいさつ等の基本的な生活習慣の定着に取り組んでいる。	41%	44%	6%	0%	9%	60%	33%	1%	3%	3%	61%	30%	7%	1%	1%	53%	36%	5%	1%	5%
	(6)	一中は、安全についての指導や訓練などを十分行っている。	37%	35%	12%	1%	15%	34%	50%	10%	0%	6%	53%	38%	7%	1%	1%	42%	40%	10%	1%	8%
	(7)	一中は、皆さんの悩み事が相談できるように配慮している。	23%	34%	14%	2%	27%	31%	31%	10%	6%	21%	42%	36%	12%	3%	7%	32%	34%	12%	4%	18%
3 進路指導	(8)	一中は、進路について十分な情報提供をしている。	9%	23%	13%	0%	54%	13%	31%	9%	1%	46%	40%	45%	8%	3%	3%	21%	33%	10%	2%	34%
	(9)	一中は、進路について親身になって相談にのってくれる。	7%	20%	12%	1%	59%	16%	21%	9%	3%	51%	38%	38%	8%	7%	9%	20%	27%	10%	4%	40%
	(10)	一中は、職場体験などキャリア教育に積極的に取り組んでいる。	24%	37%	4%	0%	35%	53%	36%	1%	0%	10%	45%	38%	6%	1%	10%	39%	37%	4%	0%	19%
4 特別活動	(11)	学校行事は、皆さんが活躍する場面がたくさんあり、内容が充実している。	44%	41%	6%	2%	7%	53%	39%	4%	1%	3%	45%	36%	12%	1%	6%	47%	39%	8%	2%	5%
	(12)	セカンドスクールは、充実した体験活動になっている。	69%	23%	4%	1%	2%	70%	24%	1%	0%	4%	53%	28%	3%	2%	13%	64%	25%	3%	1%	7%
	(13)	生徒会・委員会活動は、自主的・主体的活動になっている。	34%	36%	6%	1%	22%	50%	26%	9%	4%	11%	40%	31%	8%	6%	15%	41%	32%	7%	3%	17%
5 学校運営	(14)	一中は、教育方針や教育の重点を分かりやすく伝えている。	17%	41%	11%	1%	30%	26%	49%	7%	1%	17%	29%	39%	16%	4%	11%	24%	42%	12%	2%	20%
	(15)	一中は、校長先生を中心に教職員が協力し合っている。	23%	30%	2%	0%	45%	24%	21%	6%	0%	49%	24%	35%	9%	8%	25%	24%	29%	5%	3%	39%
	(16)	先生方は、教育活動に熱心に取り組んでいる。	36%	34%	10%	0%	20%	46%	27%	6%	0%	21%	36%	42%	7%	2%	13%	39%	35%	8%	1%	18%
	(17)	一中は、皆さんに対してきちんと説明し、意見や要望に答えている。	24%	42%	10%	1%	22%	21%	49%	10%	4%	16%	28%	44%	9%	7%	12%	25%	44%	10%	4%	17%
	(18)	学校環境は、いつも清潔で整備されている。	29%	48%	9%	1%	13%	30%	46%	16%	3%	6%	35%	37%	18%	3%	7%	31%	44%	14%	2%	9%
	(19)	一中は、明るく活気がある。	53%	36%	4%	1%	6%	56%	33%	6%	1%	4%	56%	28%	9%	1%	6%	55%	32%	6%	1%	5%
6 地域連携	(20)	一中フェスタによって、地域との連携が深まっている。	37%	40%	8%	2%	13%	46%	34%	9%	3%	9%	42%	33%	12%	7%	7%	41%	36%	10%	4%	10%
	(21)	皆さんは、地域の活動や行事に協力している。	23%	38%	15%	4%	19%	37%	31%	13%	6%	13%	34%	37%	9%	11%	9%	31%	36%	12%	7%	14%
	(22)	一中は、学校便りやホームページなどで学校の情報提供をしている。	30%	29%	3%	1%	38%	46%	24%	1%	0%	29%	39%	34%	8%	4%	15%	37%	29%	4%	2%	27%

\* C評価・D評価の否定的評価、わからないの評価が30%を超える質問項目に関しては、網掛けで示した。

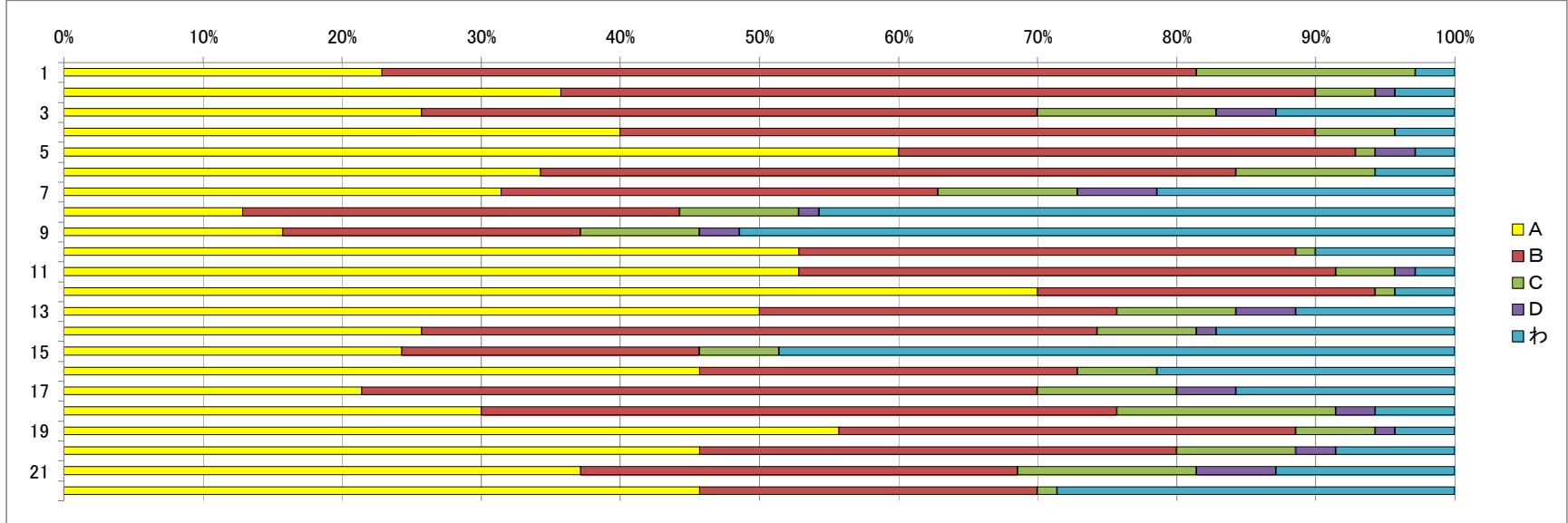
1学年 生徒

A:あてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない わ:わからない



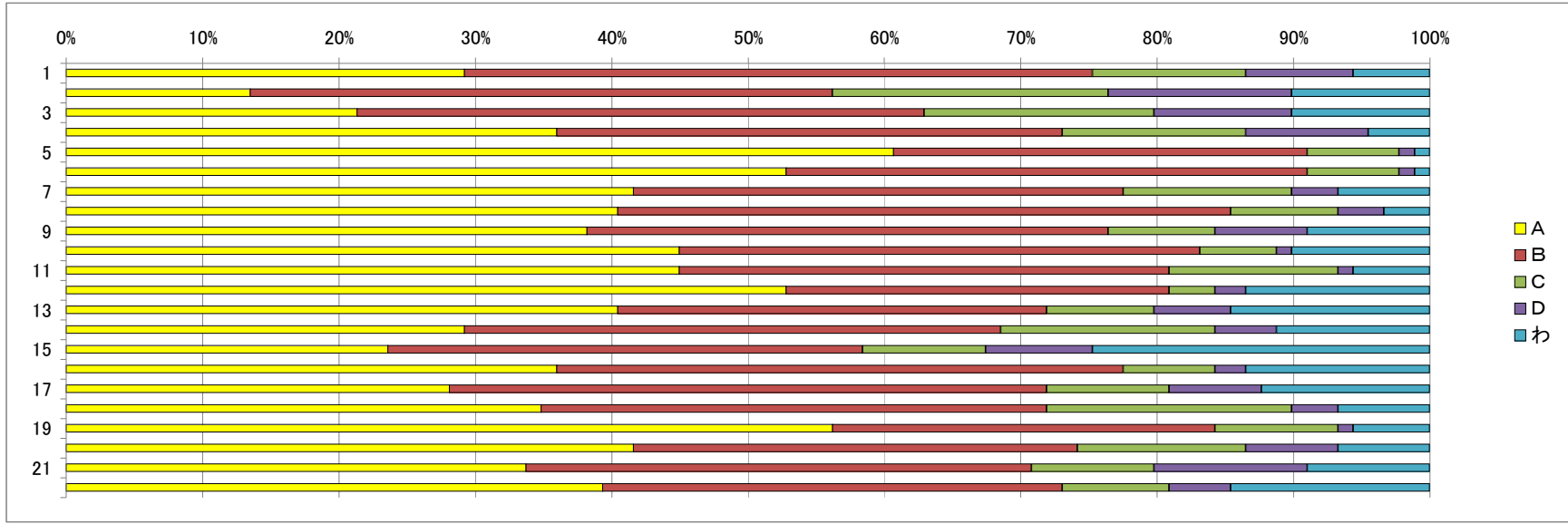
2学年 生徒

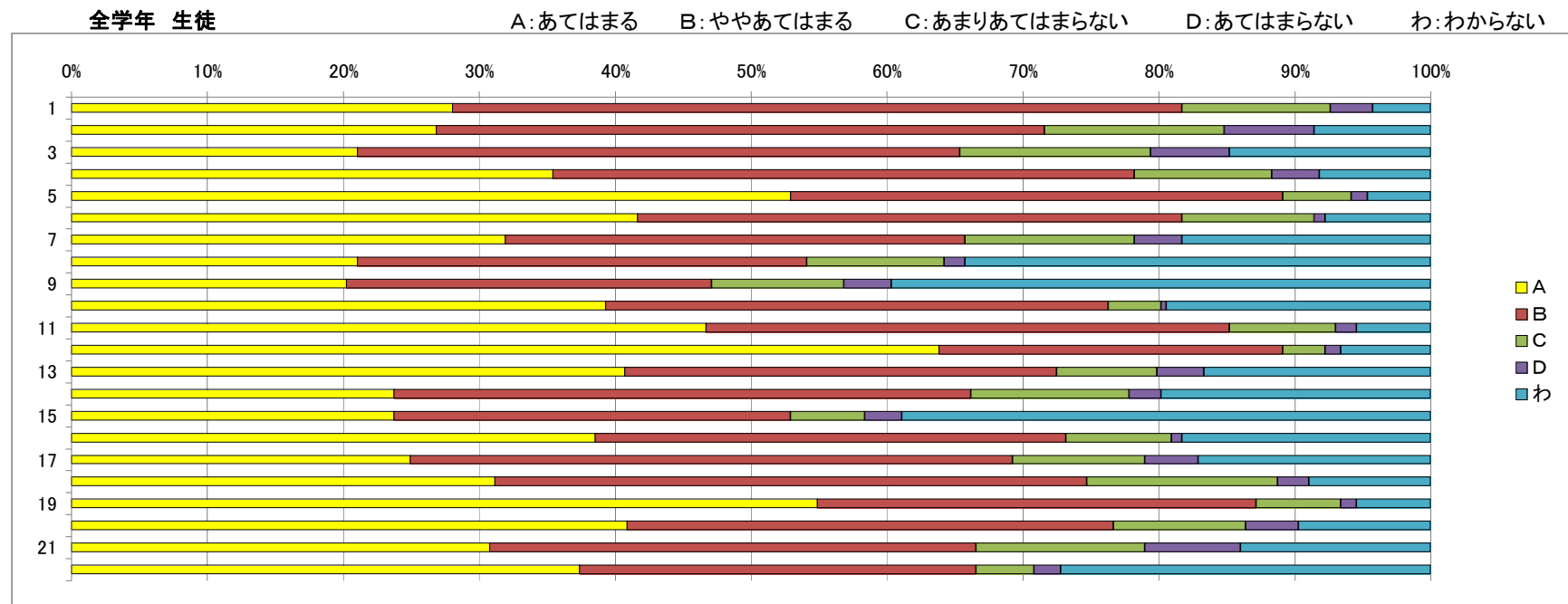
A:あてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない わ:わからない



3学年 生徒

A:あてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない わ:わからない





考察

各観点においてほぼ、肯定的評価がされている。前年度と比較すると否定的な評価が減少している。特に、あいさつ、安全指導、行事、セカンドスクールなどは、高い評価を得ている。しかし、C評価・D評価を合計して30%を超える質問項目、わからないの評価が30%を超える質問項目に関しては、改善の必要があると考え、以下に分析と具体的な改善策について示すことにする。

項目	分析	改善策
(2) 通知表の評価は、納得できるものとなっている。	3年生は、進路に向け自分が努力したという認識と結果に、違いを感じているようである。今年度から、「通知表の見方」を学期当初に発行し、評価への理解を行ったために、前年度よりC・D評価が10%減少したと考えられる。 1・2年生は、概ね納得していると判断できる。	・今年度同様、「通知表の見方」を学期当初に発行し、十分な説明をする。 ・授業毎の単元目標を明確にし、理解すべき内容を説明する。 ・各教科の評価方法・規準を明確にするとともに、評価の精度をより一層高める。
(8) 進路について十分な情報提供をしている。 (9) 進路について親身になって相談にのってくれる。	1・2年生は、直接進路選択に関わる情報提供や相談が行われているか理解できない結果が、わからないと判断したと考える。また、進路＝進学と考えているところがあったと考えられる。	・年度当初に進路指導計画を明確にし、1・2年生の発達段階に応じた、進路指導を行う。 ・生徒に分かりやすく、興味・関心を高める資料提供を行い、体験的な活動を推進する。
(15) 校長先生を中心に教職員が協力し合っている。	生徒にとっては、日常的にあまり意識していないことである。特に、1・2年生にとってはその傾向が強く、わからないという評価をしたと考えられる。	・校長の経営方針の下、全教職員が共通理解を持って指導・実践する。 ・重点目標の達成に向け、全教職員が計画的に取り組む。
(22) 学校便りやホームページなどで学校の情報提供をしている。	1・2年生が、わからないと評価しているのは、パソコン利用数にも関係があると考ええる。また、日常的に学年便りや教員からの情報提供があることから、学校便り、HPIに対してあまり意識していないのではないかと。	・今後も、計画的に学校便り等の発行を実行する。 ・ホームページの内容等の工夫・改善を図る。

学校評価アンケート集計 保護者

A:あてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない わ:わからない

観点	No	質問項目	1学年					2学年					3学年					全学年				
			A	B	C	D	わ	A	B	C	D	わ	A	B	C	D	わ	A	B	C	D	わ
1 学習指導	(1)	授業は、生徒にとって分かりやすく、基礎・基本が身に付いている。	23%	47%	12%	2%	17%	18%	53%	9%	11%	9%	16%	57%	9%	3%	16%	19%	52%	10%	5%	14%
	(2)	通知表の評価は、納得できるものとなっている。	32%	48%	7%	2%	12%	40%	42%	9%	4%	4%	19%	47%	21%	7%	7%	29%	46%	12%	4%	8%
	(3)	道徳の授業によって、道徳的な考え方や実践力が身に付いている。	8%	50%	17%	0%	25%	38%	49%	11%	0%	2%	21%	33%	21%	3%	22%	21%	44%	17%	1%	18%
	(4)	総合的な学習の時間によって、課題解決、情報活用、表現などの能力が身に付いている。	20%	47%	12%	2%	20%	22%	56%	4%	4%	13%	31%	48%	5%	2%	14%	25%	50%	7%	2%	16%
2 生活指導	(5)	一中は、あいさつ等の基本的な生活習慣の定着に取り組んでいる。	35%	45%	8%	2%	10%	49%	36%	11%	2%	2%	36%	41%	9%	5%	9%	39%	41%	9%	3%	7%
	(6)	一中は、安全についての指導や訓練などを十分行っている。	23%	52%	8%	0%	17%	31%	38%	4%	0%	27%	36%	45%	9%	0%	10%	30%	45%	7%	0%	17%
	(7)	一中は、子供の悩み事が相談できるように配慮している。	23%	48%	8%	3%	17%	42%	20%	11%	2%	24%	28%	31%	19%	5%	17%	30%	34%	13%	4%	19%
3 進路指導	(8)	一中は、進路について十分な情報提供をしている。	8%	33%	12%	5%	42%	7%	33%	16%	2%	42%	14%	40%	26%	9%	12%	10%	36%	18%	6%	31%
	(9)	一中は、進路について親身になって相談にのってくれる。	10%	28%	8%	3%	50%	11%	24%	11%	0%	53%	22%	41%	16%	5%	16%	15%	32%	12%	3%	39%
	(10)	一中は、職場体験などキャリア教育に積極的に取り組んでいる。	33%	33%	8%	0%	25%	58%	36%	2%	0%	4%	52%	38%	10%	0%	0%	47%	36%	7%	0%	10%
4 特別活動	(11)	学校行事は、生徒が活躍する場面がたくさんあり、内容が充実している。	50%	42%	5%	0%	3%	69%	22%	7%	0%	2%	64%	28%	5%	2%	2%	60%	31%	6%	1%	2%
	(12)	セカンドスクールは、充実した体験活動になっている。	75%	23%	0%	0%	2%	73%	22%	0%	0%	4%	62%	22%	3%	3%	9%	70%	23%	1%	1%	5%
	(13)	生徒会・委員会活動は、自主的・主体的活動になっている。	35%	42%	7%	0%	17%	44%	36%	2%	0%	18%	45%	34%	5%	3%	12%	41%	37%	5%	1%	15%
5 学校運営	(14)	一中は、教育方針や教育の重点を分かりやすく伝えている。	32%	52%	5%	5%	7%	53%	40%	2%	0%	4%	33%	48%	9%	0%	10%	38%	47%	6%	2%	7%
	(15)	一中は、校長を中心に教職員の協力体制がしっかりしている。	30%	40%	0%	3%	27%	47%	40%	2%	0%	11%	28%	38%	7%	7%	21%	34%	39%	3%	4%	20%
	(16)	先生方は、教育活動に熱心に取り組んでいる。	37%	50%	5%	3%	5%	49%	33%	11%	0%	7%	21%	57%	7%	0%	16%	34%	48%	7%	1%	9%
	(17)	一中は、保護者に対してきちんと説明し、意見や要望に答えている。	33%	45%	7%	5%	10%	47%	40%	7%	0%	7%	29%	40%	12%	9%	10%	36%	42%	9%	5%	9%
	(18)	学校環境は、いつも清潔で整備されている。	28%	62%	3%	2%	5%	44%	47%	4%	0%	4%	33%	59%	3%	2%	3%	34%	56%	4%	1%	4%
	(19)	一中は、明るく活気がある。	38%	50%	5%	0%	7%	40%	49%	7%	2%	2%	34%	50%	7%	0%	9%	37%	50%	6%	1%	6%
6 地域連携	(20)	一中フェスタによって、地域との連携が深まっている。	42%	45%	5%	2%	7%	40%	56%	0%	0%	4%	43%	40%	7%	2%	9%	42%	46%	4%	1%	7%
	(21)	生徒は、地域の活動や行事に協力している。	15%	50%	12%	2%	22%	29%	47%	4%	4%	16%	19%	40%	12%	3%	26%	20%	45%	10%	3%	21%
	(22)	一中は、学校便りやホームページなどで学校の情報提供をしている。	40%	50%	3%	2%	5%	49%	42%	4%	0%	4%	45%	40%	7%	0%	9%	44%	44%	5%	1%	6%

回収率 67%

回収率 64%

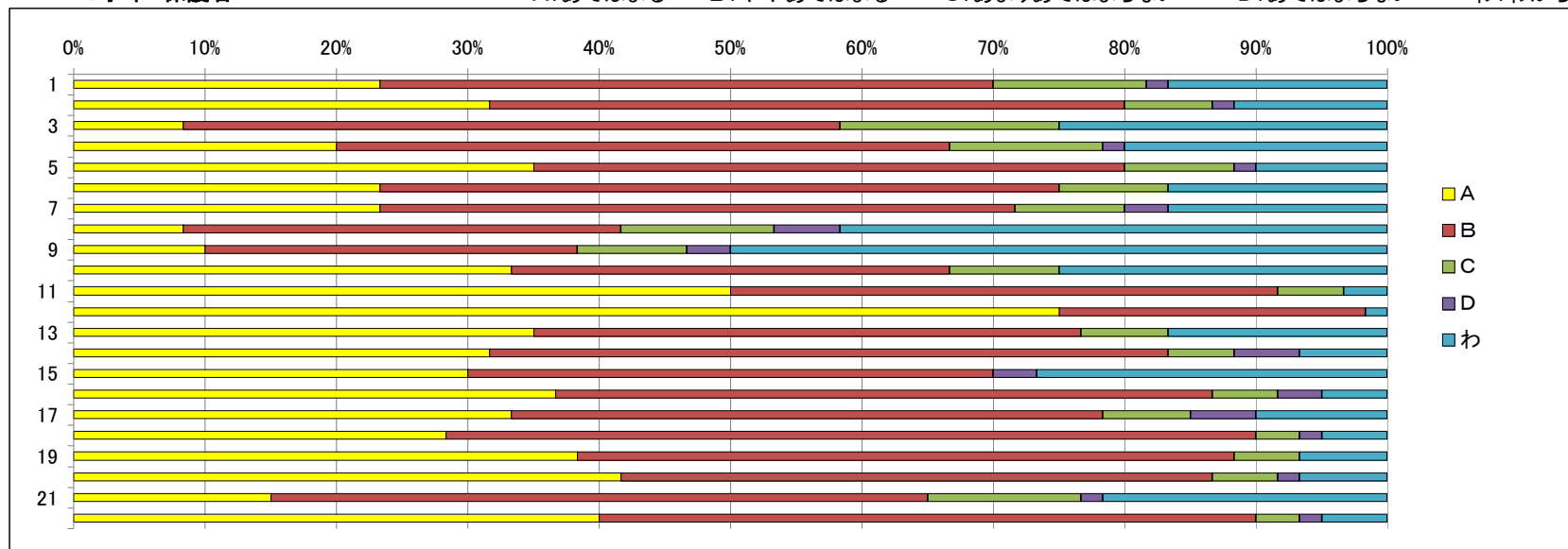
回収率 61%

回収率 64%

\* C評価・D評価の否定的評価、わからないの評価が30%を超える質問項目に関しては、網掛けで示した。

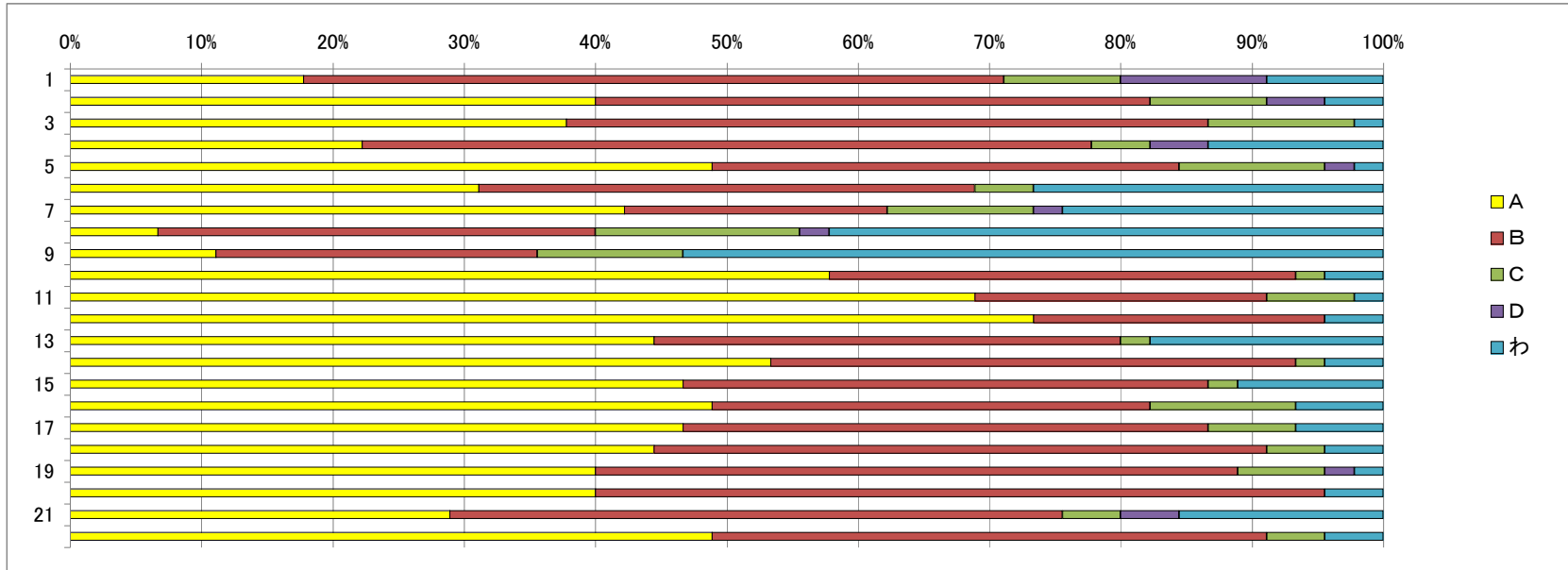
1学年 保護者

A:あてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない わ:わからない



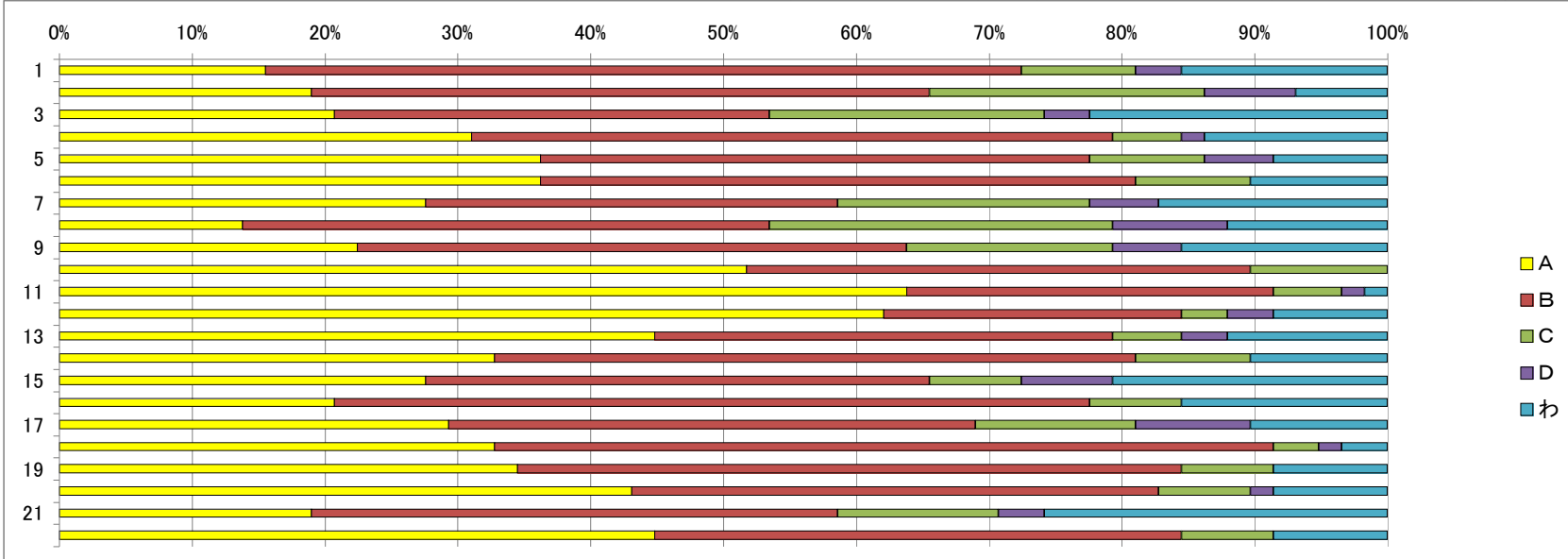
2学年 保護者

A:あてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない わ:わからない



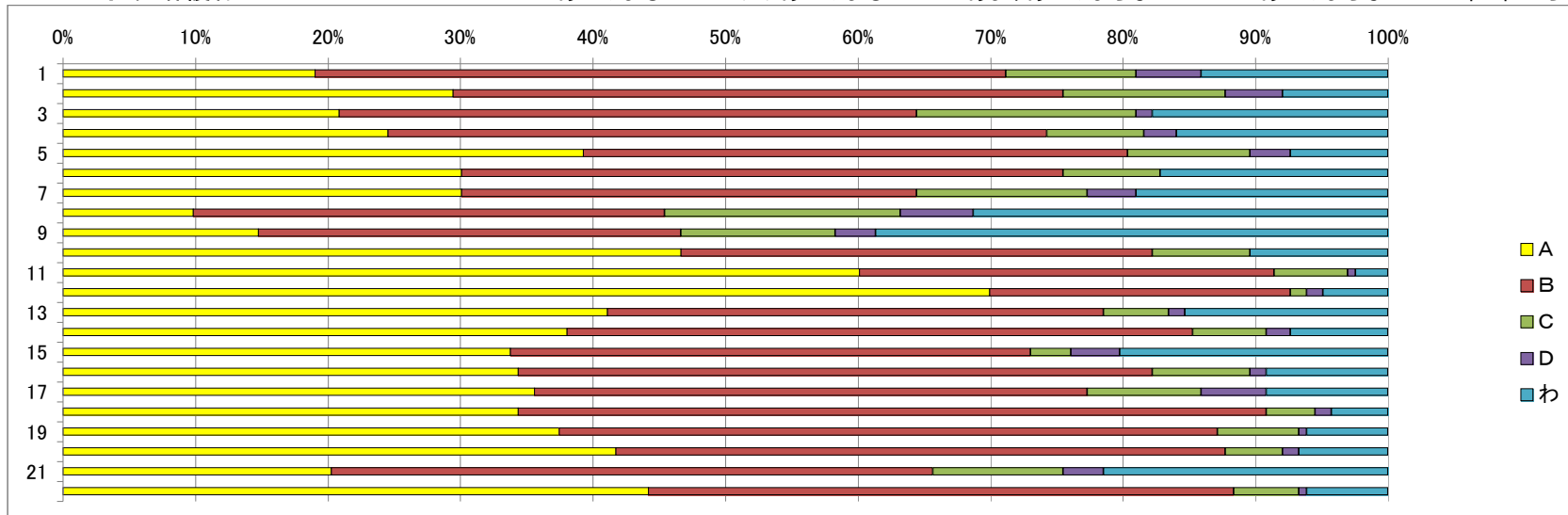
3学年 保護者

A:あてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない わ:わからない



全学年 保護者

A:あてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない わ:わからない



考察

各観点において、ほぼ肯定的評価がされている。前年度と比較すると否定的な評価が顕著に減少している。特に、あいさつ、キャリア教育、特別活動、学校運営などは、高い評価を得ている。しかし、C評価・D評価を合計して30%を超える質問項目、E評価が30%を超える質問項目に関しては、改善の必要があると考え、以下に分析と具体的な改善策について示すことにする。

項目	分析	改善策
(8)進路について十分な情報提供をしている。	1・2年生には、進路選択に直接関わる情報が少ないと判断したと結果と考える。それは進路＝進学と考えており、現時点では、わからないと評価したと考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間の生徒の発達段階に応じた、進路指導を計画的に行う。</li> <li>・各学年に合った進路情報を、学年便り等で保護者に提供する。</li> </ul>
(9)進路について親身になって相談にのってくれる。	1・2年生では、教育相談等で進路に直接関わる相談ではなく、学習・生活についての内容が中心となるため、わからないと評価したと考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年実施される教育相談で生徒の発達段階に応じた、進路に関する内容も取り入れる。</li> </ul>

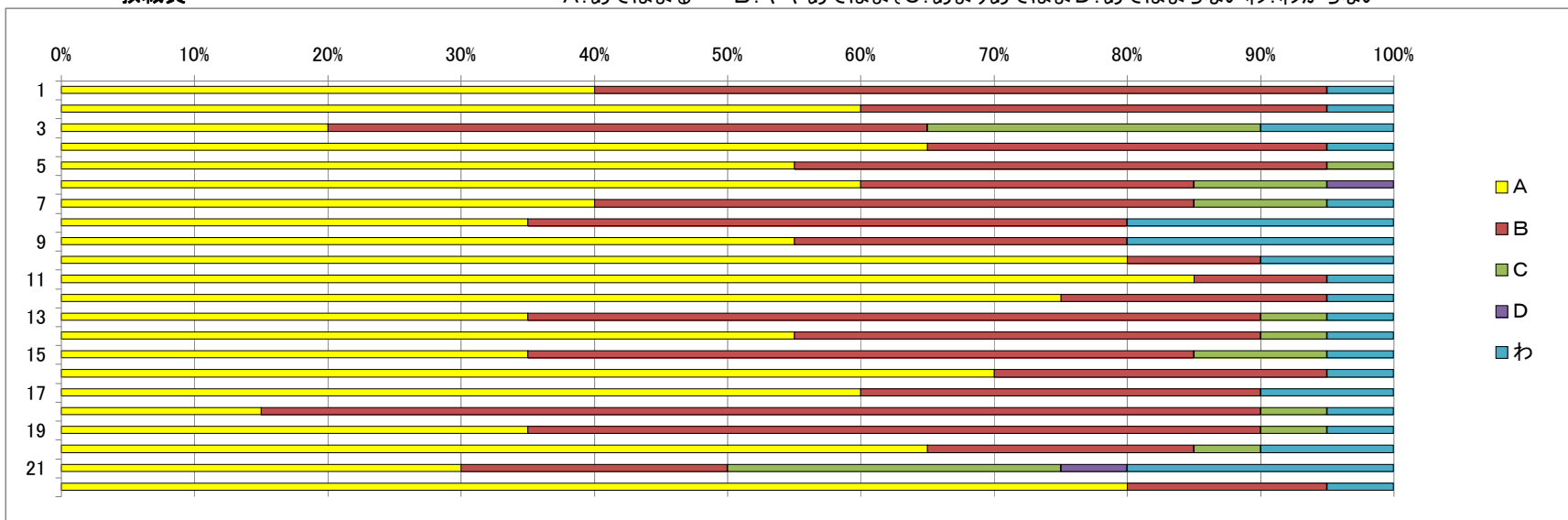
学校評価アンケート集計 教職員

観 点	No	評 価 項 目	教職員				
			A	B	C	D	わ
1 学習指導	(1)	授業は、生徒にとって分かりやすく基礎・基本が身に付いている。	40%	55%	0%	0%	5%
	(2)	通知表の評価は、適正である。	60%	35%	0%	0%	5%
	(3)	道徳の授業によって、道徳的な考え方や実践力が身に付いている。	20%	45%	25%	0%	10%
	(4)	生徒は、総合的な学習の時間によって、課題解決、情報活用、表現などの能力が身に付いている。	65%	30%	0%	0%	5%
2 生活指導	(5)	一中は、あいさつ等の基本的な生活習慣を定着に取り組んでいる。	55%	40%	5%	0%	0%
	(6)	一中は、安全性を高める指導や訓練など、十分行っている。	60%	25%	10%	5%	0%
	(7)	一中は、生徒の悩み事が相談できるように配慮している。	40%	45%	10%	0%	5%
3 進路指導	(8)	一中は、進路について十分な情報提供をしている。	35%	45%	0%	0%	20%
	(9)	一中は、進路について親身になって相談にのっている。	55%	25%	0%	0%	20%
	(10)	一中は、職場体験などキャリア教育に積極的に取り組んでいる。	80%	10%	0%	0%	10%
4 特別活動	(11)	学校行事は、生徒が活躍する場面があり、内容が充実している。	85%	10%	0%	0%	5%
	(12)	セカンドスクールは、充実した体験活動になっている。	75%	20%	0%	0%	5%
	(13)	生徒会・委員会活動は、自主的・主体的活動になっている。	35%	55%	5%	0%	5%
5 学校運営	(14)	一中は、教育方針や教育の重点を分かりやすく伝えている。	55%	35%	5%	0%	5%
	(15)	一中は、校長を中心に教職員の協力体制がしっかりしている。	35%	50%	10%	0%	5%
	(16)	教職員は、教育活動に熱心に取り組んでいる。	70%	25%	0%	0%	5%
	(17)	一中は、生徒・保護者に対してきちんと説明し、意見や要望に答えている。	60%	30%	0%	0%	10%
	(18)	学校環境は、いつも清潔で整備されている。	15%	75%	5%	0%	5%
	(19)	一中は、明るく活気がある。	35%	55%	5%	0%	5%
6 地域連携	(20)	一中フェスタによって、地域との連携が深まっている。	65%	20%	5%	0%	10%
	(21)	生徒は、地域の活動や行事に協力している。	30%	20%	25%	5%	20%
	(22)	一中は、学校便りやホームページなどで学校の情報提供をしている。	80%	15%	0%	0%	5%

\* C評価・D評価の否定的評価、わからないの評価が10%を超える質問項目に関しては、網掛けで示した。

教職員

A:あてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはま D:あてはまらない わ:わからない



## 考察

各観点において、ほぼ肯定的評価がされている。特に、進路指導、特別活動、学校運営など高い評価を得ている。しかし、C評価が10%を超える質問項目に関しては、改善の余地があると考え、以下に分析と具体的な改善

項目	分析	改善策
(3)道徳の授業によって、道徳的な考え方や実践力が身に付いている。	道徳の授業によって、道徳的な考え方や実践が、学校生活などに生かされているか確信が持てない結果だと考えられる。	各学年の発達段階、問題意識の違いなどを踏まえ道徳の授業を推進する。特に、研究推進校として教科においても道徳的な実践力を高める指導の工夫を実践する。
(21)生徒は、地域の活動や行事に協力している。	地域活動への参加やや消極的であると見ているが、地域行事の日程と学校行事、部活動等との関連も深く関わっていると考えられる。	開催日に関して、学校と地域関係機関との日程調整を図る。 生徒が、平日の放課後、地域に貢献できる活動を計画する。

## 全体考察

全体的に生徒・保護者の肯定的な評価結果が前年度より顕著に高くなっている。しかしながら、生徒・保護者の評価結果と教職員との評価結果に差が出ている質問項目がある。それらの項目に対して、以下に分析と具体的

観点・項目	分析	改善策
1 学習指導 (2)評価 (4)総合的な学習の時間	評価に関して、生徒・保護者ともにほぼ同じ評価をしている。教員は、自分の評価基準に合わせて評価をしているので肯定的な結果が高い。しかし、生徒・保護者は、学習への取り組み方や努力などから判断し、アンケートに答えているため教員とのギャップが生じたと考える。前年度より、生徒・保護者の否定的な評価が減少していることは、毎学期当初に「通知表の見方」発行など評価への理解を深める取り組みの成果であると考えられる。 総合的な学習の時間に関しては、生徒・保護者が思っている以上に課題解決、情報活用、表現などの能力が身に付いていると教員は判断している。それは、授業や様々な学校生活の中で生徒の反応を見て評価しているためだと考える。	授業毎の単元目標を明確にし、理解すべき内容を説明する。 各教科の評価方法・基準を明確にするとともに、評価の精度をより一層高める。 今年度同様、「通知表の見方」を学期当初に発行し、1学期始まりのガイダンスや保護者会、三者面談等で十分な説明をする。 学年ごと、発達段階に応じた計画的な指導を実践し、本校の特色であるポスターセッションを有効に活用する。 総合的な学習の時間以外にも、課題解決、情報活用、表現などの能力が身に付ける指導を継続していく。
3 進路指導 (8)情報提供	生徒・保護者共に、進路に関する情報提供は、進学情報と考えていると考えられる。それに対して、教員は、「進路＝進学」にとらわれることなく、社会的・職業的自立に向けた生き方を指導する必要があると考えている。そこに大きなギャップがあると考えられる。	各学年、生徒の発達段階に応じた計画的な進路学習を行う。特に、1年生に対しては、導入段階なので丁寧に指導する。 キャリア教育を推進するとともに、生徒の興味・関心を高める体験活動など指導方法の工夫をする。
5 学校運営 (16)教育活動に熱心 (17)説明責任、要望に答える	生徒・保護者共に、A・Bを加えた肯定的な評価ととらえるとあまり問題とならないが、A評価のみを考えると、教員とのギャップが見えてくる。生徒・保護者共、学校側に期待する部分があるように思える。	学校は、教員の共通理解の下、統一性や継続性を持った指導を行う。 生徒・保護者とコミュニケーションが図れる人間関係を築く。 * 学年便りや保護者会、教育相談の充実などを含む